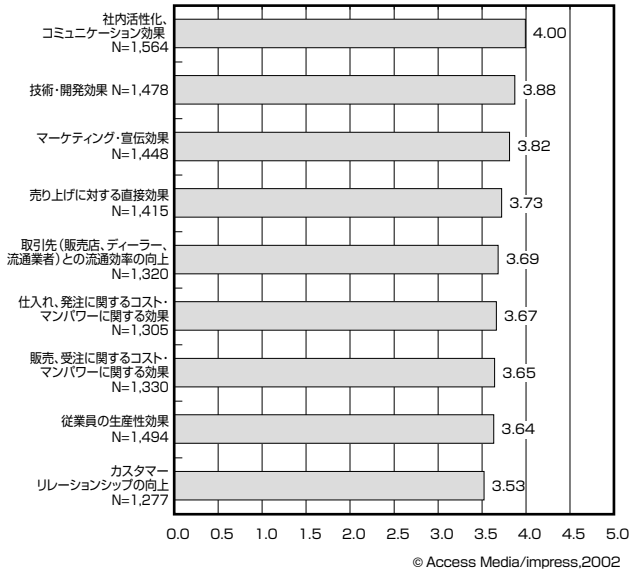
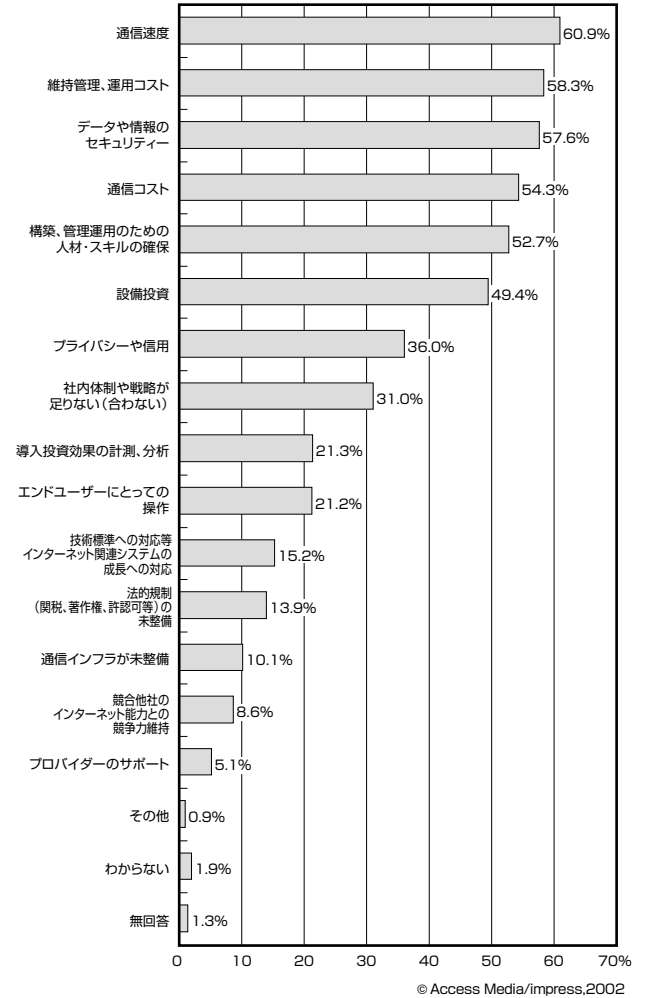


資料1-4-49 インターネットの導入効果項目別平均点 (5点満点)



資料1-4-50 インターネット、イントラネットに関する今後の課題 N=1,725



解説

昨年と比べると2位と3位の順位が入れ替わったものの、「社内活性化・コミュニケーション効果」「技術・開発効果」「マーケティング・宣伝効果」が上位を占め、同様の傾向となった。

また、先にみた「インターネットの利用で期待する効果」(110ページの資料1-4-34)と対比してみても、もともと「売り上げに対する直接効果」やコスト、マンパワーに関する効果といった直接利益やコスト削減を期待しているわけではないのでほぼ期待通りの効果が得られたと感じているようである。

インターネット、イントラネットに関する今後の課題(資料1-4-50)については、昨年同様「通信速度」が1位となった。実際には高速化が進んでいるにもかかわらず、相変わらず関心が高い。昨年2位の通信コストは今年4位に後退し、代わって「維持管理、運用コスト」が2位に浮上した。

また、「データや情報のセキュリティ」も昨年の5位から3位へと浮上している。これらの課題は今後も企業でのインターネット利用が進み、従業員への浸透が増すとともに、ますます具体的な対応が必

要とされる。

(矢野さよみ アクセスメディアインターナショナル株式会社)



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp